

関東信越厚生局 第3回地域包括ケア応援セミナー 「小規模自治体における地域包括ケアの推進」プログラム

地域で個を援助する実践活動報告
「福商連携～**わくわく商店街**の取り組みについて」

H28.11.16

長野県山ノ内町社会福祉協議会

長野県山ノ内町

- AREA DATA



長野県の北東にある町。
総面積の90%以上が山林原野。
河岸段丘や扇状地に集落・田のほか、リンゴ・ブドウ・モモなどの耕作地が斜面に広がっている。河川流域には火山活動の影響により温泉地が広がる。

面積: 約266km²
人口: 13,063人
高齢化率: 約38%
(平成28年10月1日現在)
世帯数: 5,039世帯

取り組み 介護サービス経営研究会 (長野県内5社協)

山ノ内町社協



山ノ内町

池田町

御代田町

山形村

富士見町

・ 5社協の目指すもの

- ・ 経営数字・数値にこだわる・数字をみる
⇒ 総ての職員が 職種に関係なく
⇒ 継続的に介護サービスを経営する為
- ⇒ 理事会中心の経営体制 (毎月の理事会開催)
- ・ ビジョン・想いの一致
⇒ 地域で粘る 自宅で暮らし続ける 尊厳を支える
社協のフィールドである地域は大きく変わっている
⇒ 効率的で質の伴わない介護は否定 (個に寄り添う)
⇒ 地域とともにある 社協だからやる
⇒ 地域のサービス水準を上げる
- ・ 介護を馬鹿にしない
⇒ 正しい組織体制 介護職員の処遇 仕事に対する満足度
- ・ 地域福祉B
⇒ 地域で個を援助するアプローチ (従来の地域福祉の基盤づくりとは別に)
⇒ ⇒ そんな中、個別ニーズの積み重ねとして...

個別的な生活課題への取り組み ～買い物弱者支援へ～の経過1

- 町内のお一人暮らし高齢者が500名を越えている
- 従来から行っている安否確認事業・元気メールも、諸般の状況から、直接的な安否確認が出来ない状況になる
- H22年度、直接社協職員がおじゃましての聞き取りから見えてきたこと(別紙)
- 旧つつみ保育園の活用により自主整備した、つつみ住民活動センターの住民への周知
- 町商工会へのアプローチ
- 住民活動センターボランティアさんのやる気、本気！

ひとり暮らし高齢者安否確認訪問事業(平成22年度)

(町調査の対象者500名の内約400名を、隔月で訪問した中での意見等)

1. 目的 ひとり暮らしの高齢者世帯が増加している今日において、地域の中で孤立を防ぎいつまでも住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、安否確認を目的に本人宅を訪問する。また、一住民として地域活動に参加できる体制づくりを図る。

※H9～H21年度まで実施してきた元気メール事業は、官製ハガキを利用して児童生徒及びボランティアにより文面を書いていたが、郵便局職員が配達時に安否確認を兼ねて実施していた。しかし、郵政民営化に伴い、郵便局職員の協力が難しくなり事業見直しを行った。

2. 住民(対象者)からの意見

■除雪

- ・屋根の雪下ろしはシルバー人材へ毎回依頼しているが、軒先の部分がひとりではやり切れなくて困っている。(星川・乗廻・土橋)
- ・シルバー人材へ依頼し片づけてもらっている。(土橋)
- ・同じひとり暮らし世帯同士で助け合っている。(北部)

■移動

- ・自宅付近にバス停や電車の駅が無く、最寄り駅までの移動が大変。(乗廻・上条)
- ・バスや電車で買い物に行った際に、本当ならば「まとめ買い」をしたいのだが、荷物が多くなることを考えると控えてしまう。(栄台地)
- ・電車よりもバスの方が、自宅より近くから乗れる為、利用したいが、料金が安い。(栄台地)
- ・長寿大学へ通う為、一緒に行く人に乗せてもらったが、友人が休んだ時にバス停まで移動距離がある為、結局自分自身も欠席をしたことがある。(洪)
- ・行政よりタクシー券(障害者・80歳以上)が発行されたが、一回に一枚(500円分)しか使えない。遠くへ行く際にまとめて利用したいので、利用条件を変更してほしい。(→現在は一回の制限なしで使える)(横倉)

■買い物

- ・自宅付近に商店がなく寂しい。
- ・週末、子どもが来た時に連れて行ってもらう。(美明・横堰)
- ・調味料など簡単なものを買に行く場所がなく不便。
- ・近所の人が買い物へ行くときに声をかけてもらい一緒に連れて行ってもらう。(渋)
- ・商店の人が距離を限定し送迎を行っていて、買い物へ行くのが楽しみになっている。
- 買い物へ行くとお茶のみをして世間話をして帰ってくる。(北部)
- ・買った荷物を商店の人が自宅まで届けてくれる。
- ・冬場は生協や農協へ頼んでいる。できるなら、品物を自分の目で確かめて買いたい。
- ・買い物や通院時に近所の人に乘せて行ってもらっている。(天川・本郷その他)

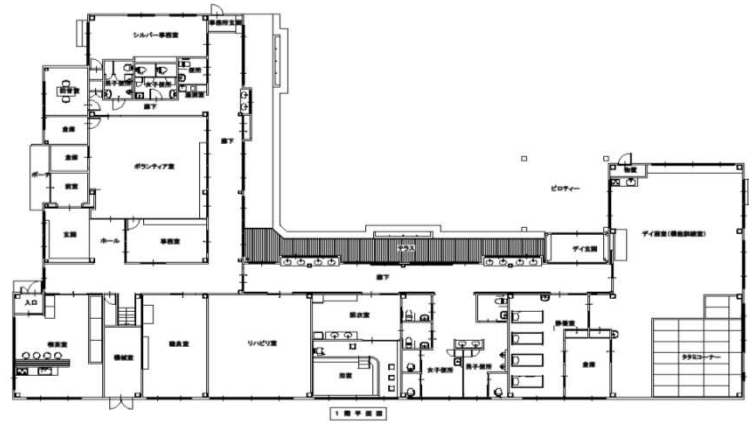
■その他

- ・胃の手術を受けてから、食事調整があり近隣に住む娘に食事を届けてもらっている。体調のこともあり、なかなか外出ができなく自宅にこもりがちだ。話し相手がほしい。(戸狩:男性)
 - 町介護支援係へ状況を説明し、担当者が訪問するとの事。
- ・近所の人から嫌がらせを受けた。(土橋)
 - 嫌味を言われた。
 - 庭の手入れをしているときに、監視するかのようにつと見られている。
- ・ひとり暮らしの人が集まる場所がほしい。(苗間)
- ・午前中は通院、午後は「楓の湯」や友人宅で過ごしている。趣味の教室に行きたいが、なかなか気持ちがついていかない。自宅にいる事があまり好きではない。(本郷)
- ・夜中に具合が悪くなった場合に連絡すらできない時があり不安になった。日中は連絡先を決めていて連絡ができるが、夜間はどうしたら良いのか。(本郷)

旧つつみ保育園(町内空き保育園(統廃合))の 活用により自主整備(H23.5.10竣工)



整備



買い物弱者支援への経過2

- H23.新春 町商工会へアプローチに
 - ・全県的にも買い物弱者のニュース
 - ・冷え込む町内商店の現況と、何とかしたい思い
宅配、移動販売等々
 - 社協的には、訪問活動から見えてきた買い物弱者対策
(極端な話し、対象者をまとめて、近隣市の大型スーパーへお連れするのも一つの方法...の腹積もりもあった)
 - ・しかし、新たに整備した住民活動センターの住民への周知と、ボランティアさんの活躍の場を
- 準備委員会の立ち上げ
住民活動センターを活用した、ミニスーパー“わくわく商店街”
の検討に入る

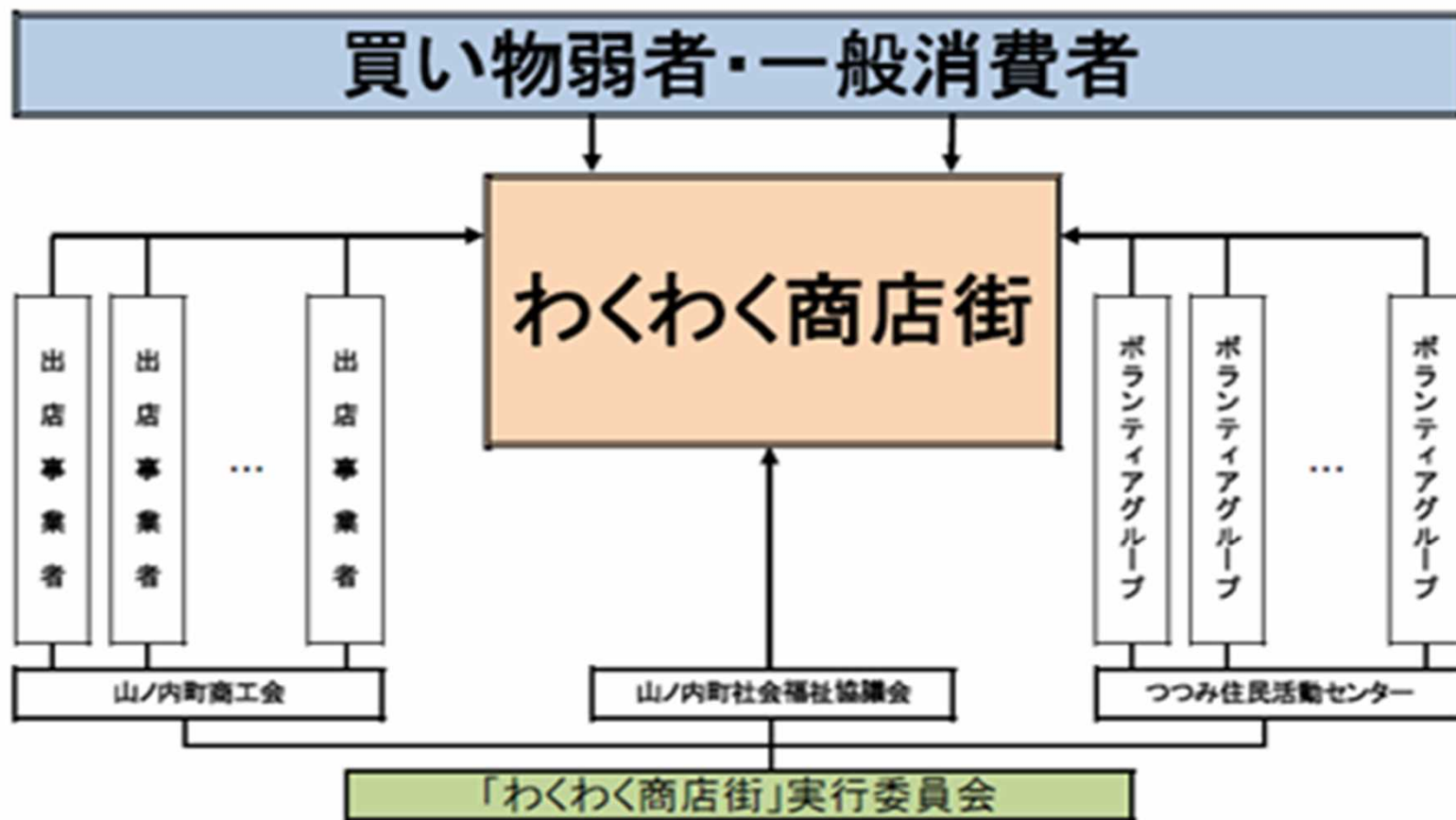
わくわく商店街の取り組みについて1

- 商品を売るプロ: 商工会... 商店
- 町内に点在する、お一人暮らし高齢者を把握する社協が送迎車によりお連れする
 - 本来の安否確認も兼ね
 - デイサービス送迎後の空き車輛の活用にも
- 住民活動センターを広めたい社協
 - ボランティア活動の他、障がい者の就労の喫茶“カフェほっとたいむ”
- おもてなしをするボランティアさん 交流のお茶飲み縁側サロンの開設

三者がつながった！ →次ページ 組織図

わくわく商店街の取り組みについて2

「わくわく商店街」実行委員会 組織図



わくわく商店街実行委員会 構成

	役職	氏名	任期(H27~H28)	所属
1	委員長	高相 美智子		住民活動センター運営委員会委員長
2	副委員長	田中 篤		商工会長
3	副委員長	飯沼 守		出店事業所代表 商工会(飯沼百貨店)
4	副委員長	畔上 善治		社会福祉協議会長
5	監査委員	青木 絹枝		社会福祉協議会監事
6	監査委員	山本 義朗		住民活動センター運営委員会副委員長
7	相談役			副町長
8	実行委員	宮崎 幸雄		商工会 (文化商店)
9	〃	掛川 一富		〃 (福田屋)
10	〃	田村 嘉一		〃 (田村酒店)
11	〃	竹節 満也		〃 (源太郎屋)
12	〃	村山 一幸		〃 (美浜寿し)
13	〃	青柳 昇		〃 (青柳洋品店)
14	〃	相澤 英雄		〃 (安心)
15	〃	羽田 吉彦		〃 (羽田甘精堂)
16	〃	小古井 良男		〃 (小古井菓子屋)
17	〃	隅田 袈裟美		〃 (三河亭)
18	〃	渡辺 保男		〃 (渡辺パン)
19	〃	岩本 一子		〃 (山母子の会)
20	〃	岩下 徹		〃 (馳走屋 流有)
21	〃	竹田 時治		社協副会長
22	〃	須田 徳榮		社協理事
23	〃	村上 徳二郎		住民活動センター
24	〃	鈴木 武男		〃
25	〃	知久 正文		〃
26	〃	小林 幸子		〃
27	事務局	赤塚 雅幸		商工会
28	〃	内堀 愛		〃
29	〃	鈴木 浩史		社協
30	〃	松澤 ひとみ		〃

わくわく商店街の取り組みについて3

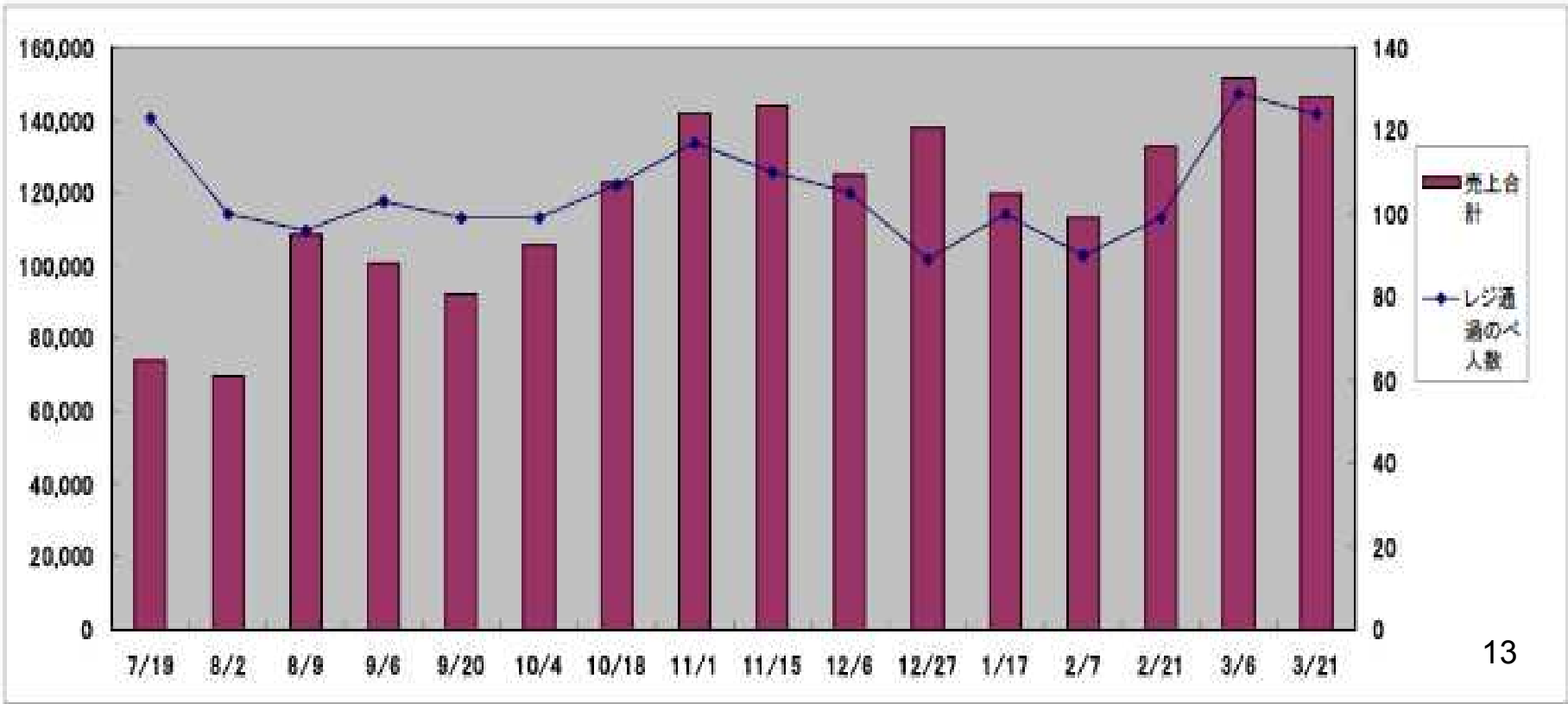
(商店街内の様子)



平成23年度

わくわく商店街 売上と客数

	売上金額															
日にち	7/19	8/2	8/9	9/6	9/20	10/4	10/18	11/1	11/15	12/6	12/27	1/17	2/7	2/21	3/6	3/21
売上合計	73,832	69,706	108,301	100,801	92,248	105,588	122,701	141,778	144,165	124,835	137,866	119,557	113,049	132,754	151,617	146,212
レジ通過のべ人数	123	100	96	103	99	99	107	117	110	105	89	100	90	99	129	124
客単価	600	697	1,128	979	932	1,067	1,147	1,212	1,311	1,189	1,549	1,196	1,256	1,341	1,175	1,179



平成24／25／26年度

- 平成24年度

営業日数 24日

売上合計 最大 3/13 161,560円、最小 12/26 107,303円

年間合計 2,968,545円 (平均123,689円)

レジ通過のべ人数 最大 5/27・9/12 139人、最小 4/25 99人

年間合計 2,885人 (平均120人)

- 平成25年度

営業日数 24日

売上合計 最大 6/12 163,700円、最小 2/12 103,647円

年間合計 3,209,441円 (平均133,726円)

レジ通過のべ人数 最大 8/28 143人、最小 1/8 93人

年間合計 2,674人 (平均111人)

- 平成26年度

営業日数 24日

売上合計 最大 9/10 151,362円、最小 8/27 110,846円

年間合計 3,135,716円 (平均130,654円)

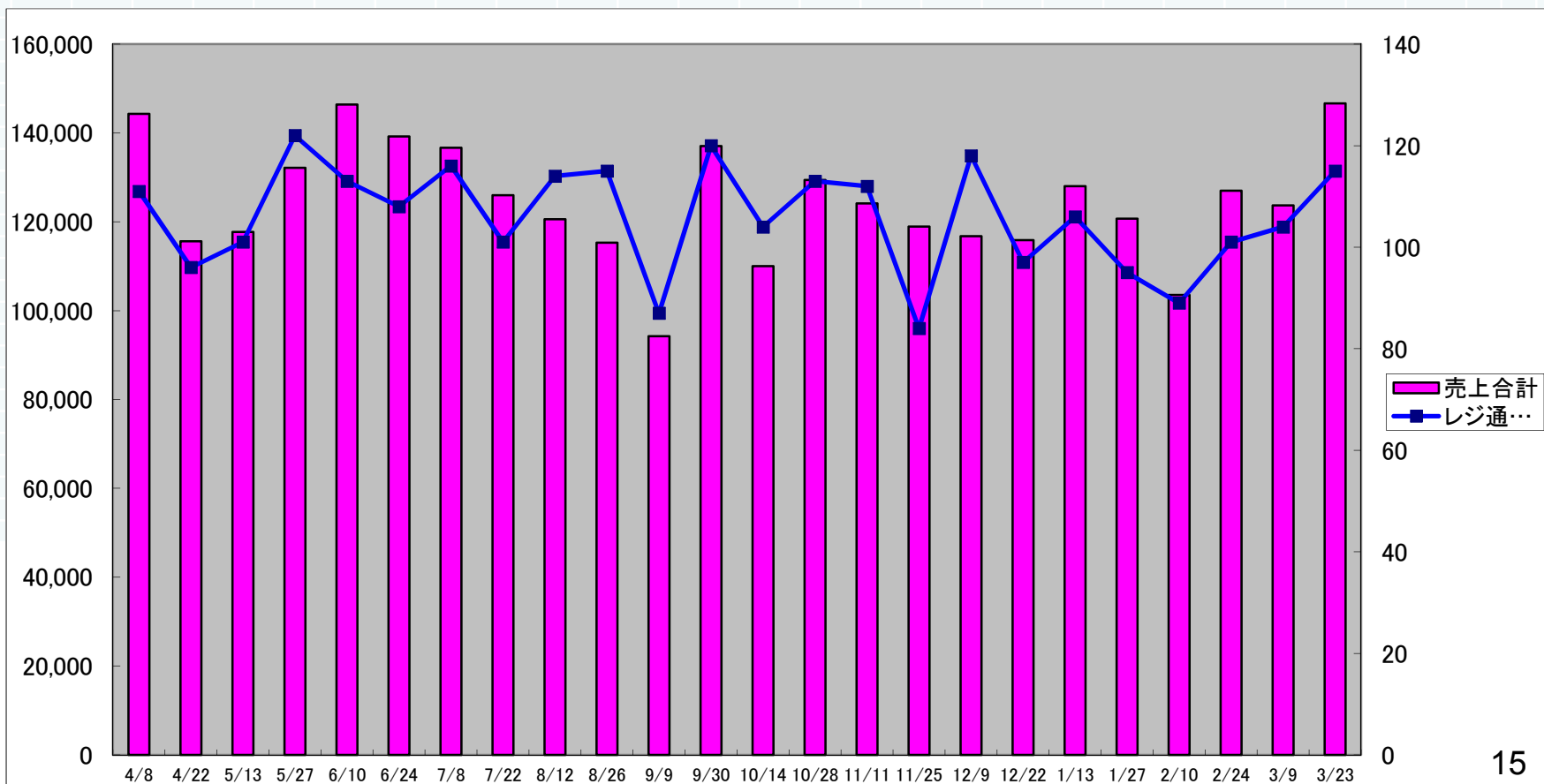
レジ通過のべ人数 最大 5/28 177人、最小 8/12 89人(雨)

年間合計 2,666人 (平均111人)

平成27年度

わくわく商店街 売上と客数

27年度		売上金額																								
日にち		4/8	4/22	5/13	5/27	6/10	6/24	7/8	7/22	8/12	8/26	9/9	9/30	10/14	10/28	11/11	11/25	12/9	12/22	1/13	1/27	2/10	2/24	3/9	3/23	
売上合計		144,329	115,630	117,688	132,138	146,401	139,222	136,669	125,995	120,583	115,314	94,231	137,058	109,996	129,390	124,132	118,934	116,791	115,887	127,994	120,707	103,504	126,990	123,675	146,642	2,989,900
レジ通過の べ人数		111	96	101	122	113	108	116	101	114	115	87	120	104	113	112	84	118	97	106	95	89	101	104	115	2,542
客単価		1,300	1,204	1,165	1,083	1,296	1,289	1,178	1,247	1,058	1,003	1,083	1,142	1,058	1,145	1,108	1,416	990	1,195	1,207	1,271	1,163	1,257	1,189	1,275	
		☀️/🌿	☀️/🌿	☀️	☀️	☀️	🌿/☀️	☀️	🌿/☀️	🌿	🌿	☀️/🌿	☀️/🌿	☀️/🌿	🌿	☀️/🌿	☀️/🌿	☀️/🌿	🌿	☀️/🌿	☀️/🌿	☀️	☀️	🌿	🌿	



わくわく商店街の取り組みについて4

- 今後の目指すところ
 - ①平成24年度、県地域発元気づくり支援金を採択いただく
→1,233(千円) 設備等の整備、お楽しみ企画等に活用
(H24年度元気づくり大賞をいただきました！)
 - ②町内中学校の特別支援学級の出店継続：社会参加
 - ③利用される方には、やはり豊富な品揃えを工夫する
 - 商店の努力に期待
また買い物のし易さも...
 - 今後4地区の公民館等による小地域の拠点販売も
 - 現状では同窓会・同級会のように、町中心地・湯田中の拠点(つつみ住民活動センター)に集まり顔を合わせる事が楽しみの方が多いので、当面支援していく
- まだまだおいでになる、お一人暮らし高齢者、日中お一人暮らしになる方々、障がいをお持ちの方、子育て中の親子も...様々な住民が更につながる拠点にしていく
- そして、福祉と商業の繋がる“福商連携”(秩父市より)の町に！